

株式会社ハイレックスコーポレーション

**2026年10月期  
第1四半期決算のご説明  
(IR資料)**

2026年3月13日

## 【業績・財務ハイライト】

- 2026年10月期第1四半期決算概要（連結）
- 2026年度通期業績予想
- 為替、関税、半導体影響

## 【政策保有株式売却・株主還元方針】

# 【業績・財務ハイライト】

# 2026年10月期第1四半期決算概要（連結）

# 決算サマリー（連結対前年比）

- \* 売上高は、ハイレックスアクト新規連結（以下アクト） 影響による約26,000百万円の増加  
および主に米州、欧州の既存事業の伸びが牽引し、増収
- \* 営業利益は、米州における関税回収遅延およびメキシコの一時的なトラブルの影響、韓国での  
主要製品の販売減少などにより、減益

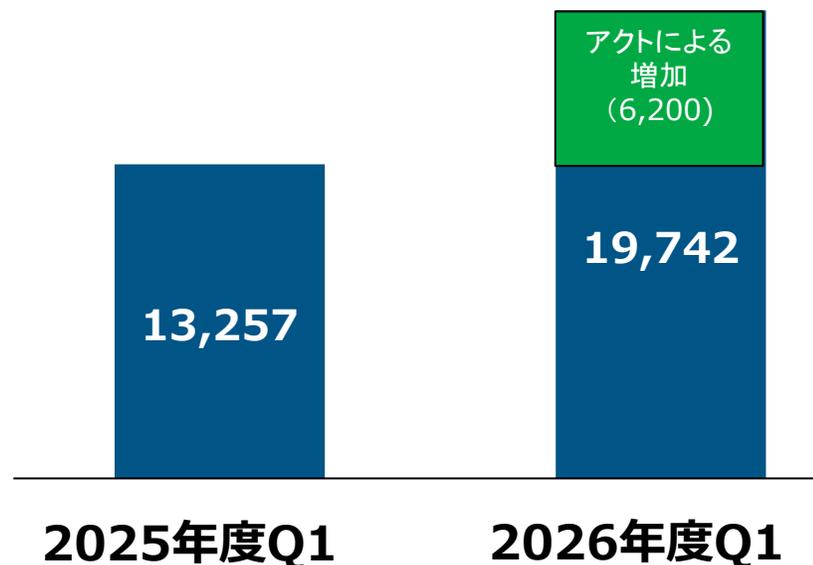
(百万円)

	2026年1月期 第1四半期実績	2025年1月期 第1四半期実績	増減額	増減率
売上高	105,571	77,503	+28,068	+36.2%
営業利益	1,189	1,355	▲166	▲12.3%
経常利益	2,431	1,765	+666	+37.7%
四半期純利益	33,355	751	+32,604	+4,335.8%

主に有価証券売却益6,732百万円、負ののれん発生益26,837百万円の影響

- \* 売上高はアクトによる増加に加え、既存事業+2.2%となり、+48.9%の増収
- \* 営業利益は、アクト影響による約▲750百万円が大きいですが、既存事業で前年比+169百万円の損益改善

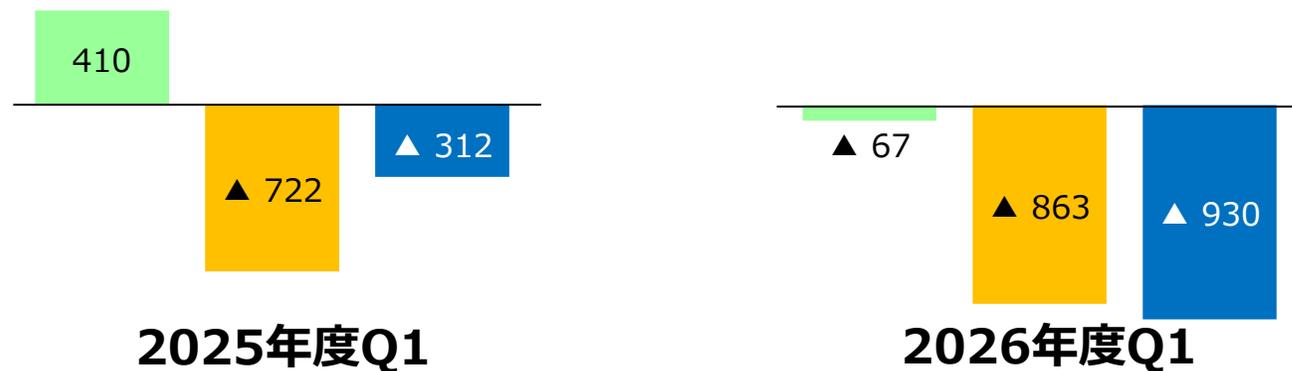
## ■ 売上高（外部顧客） （百万円）



## ■ 2025年度比 増減額・増減率

売上高	+6,485百万円 (+48.9%)
営業利益	▲477百万円 (赤字計上)

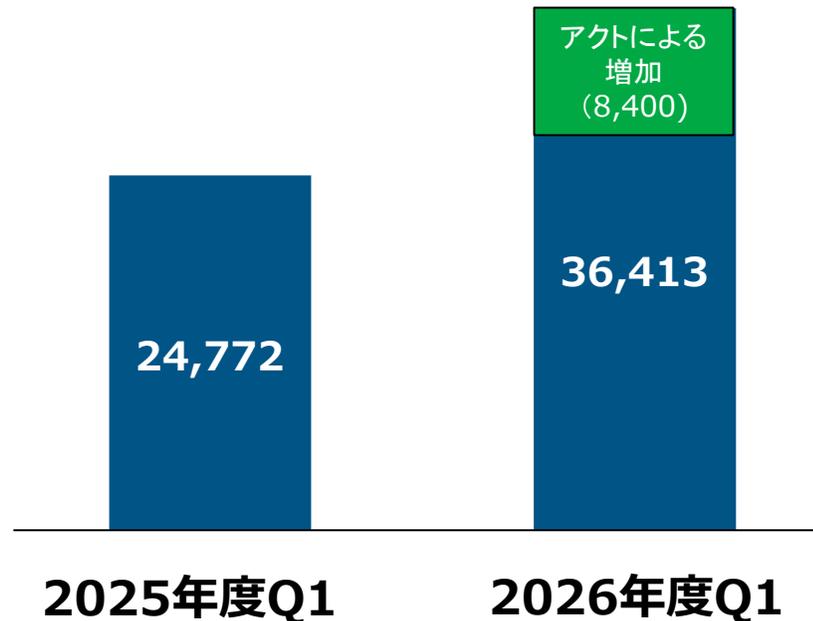
## ■ 営業利益 セグメント 本社費用 調整後 （百万円）



# 地域セグメント 米州 (米国/メキシコ/ブラジル)

- \* 売上高はネクスペリアの半導体不足による減収影響を受けるも、アクトによる増加に加え、既存事業が+16.1%となり、+47.0%の増収
- \* 営業利益は、関税影響（約▲2億円）の他、メキシコの一時的な売上減少に伴う人員過多（約▲2億円）、新規製品の売価確定の遅れ（約▲1.5億円）から赤字増加も、問題は収束し、2026年1月以降回復傾向にある

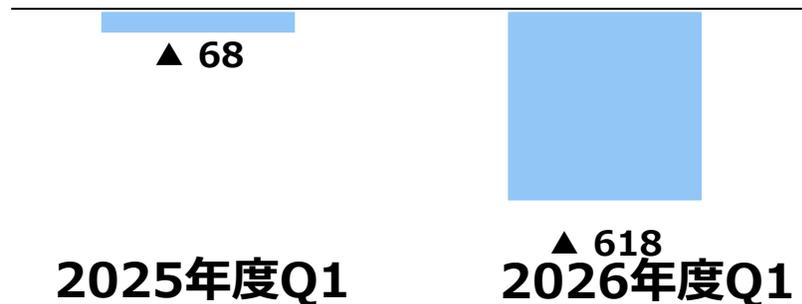
## ■売上高（外部顧客） (百万円)



## ■2025年度比 増減額・増減率

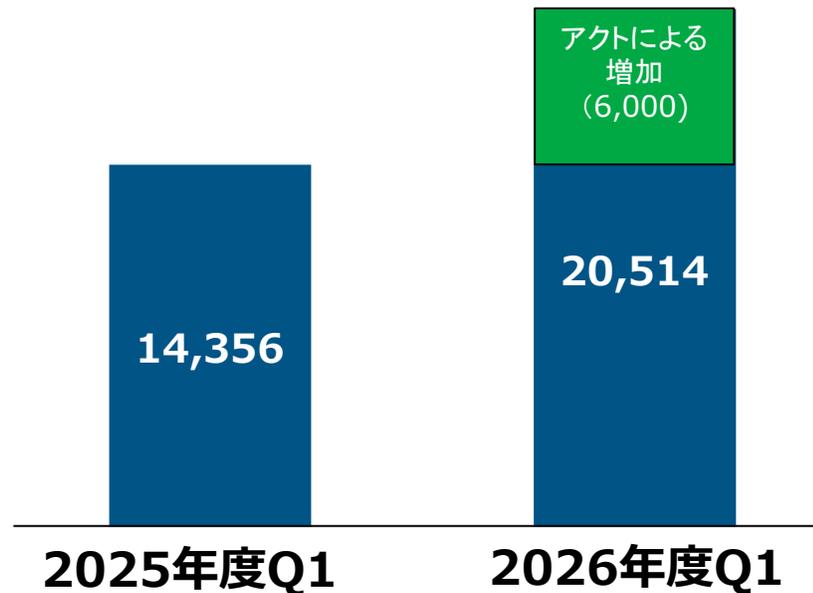
売上高	+11,641百万円 (+47.0%)
営業利益	▲550百万円 (赤字増加)

## ■営業利益 (百万円)



- \* 売上高は、アクトによる増加が大きく寄与し、+42.9%の増収
- \* 営業利益は、アクトによる増益効果に加え、既存事業においては製品構成差による変動費 減少影響で+119.1%の増益

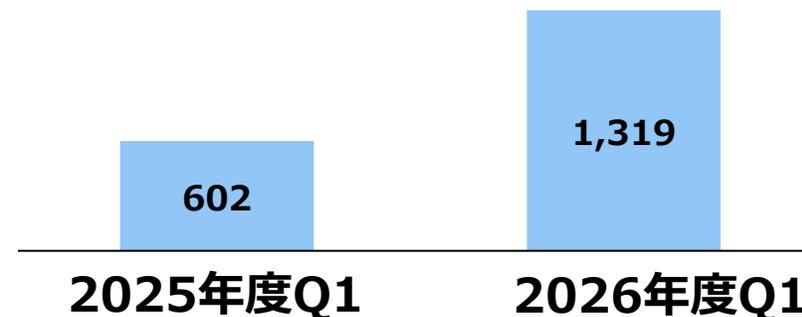
## ■ 売上高（外部顧客） （百万円）



## ■ 2025年度比 増減額・増減率

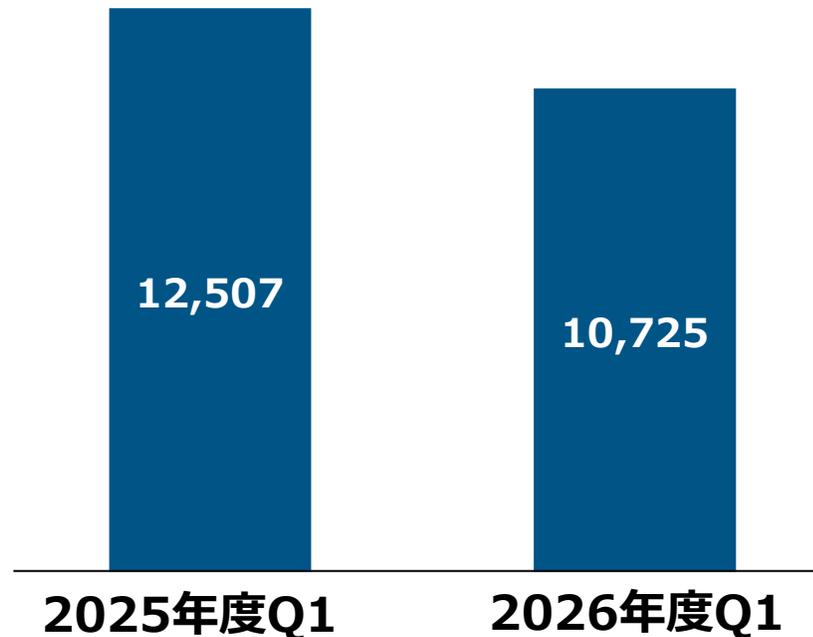
売上高	+6,158百万円 (+42.9%)
営業利益	+717百万円 (+119.1%)

## ■ 営業利益 （百万円）



- \* 売上高は、パワーリフトゲートの減少による影響で前年比▲14.2%の減収
- \* 営業利益は、売上減少に追従した固定費削減ができず、▲24.8%の減益

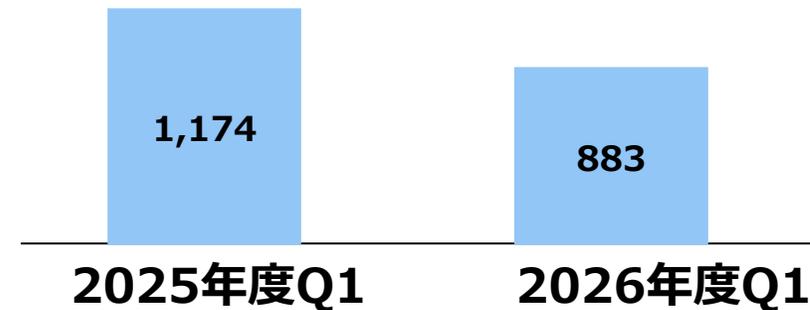
■ 売上高（外部顧客） （百万円）



■ 2025年度比 増減額・増減率

売上高	▲1,782百万円 (▲14.2%)
営業利益	▲291百万円 (▲24.8%)

■ 営業利益 （百万円）

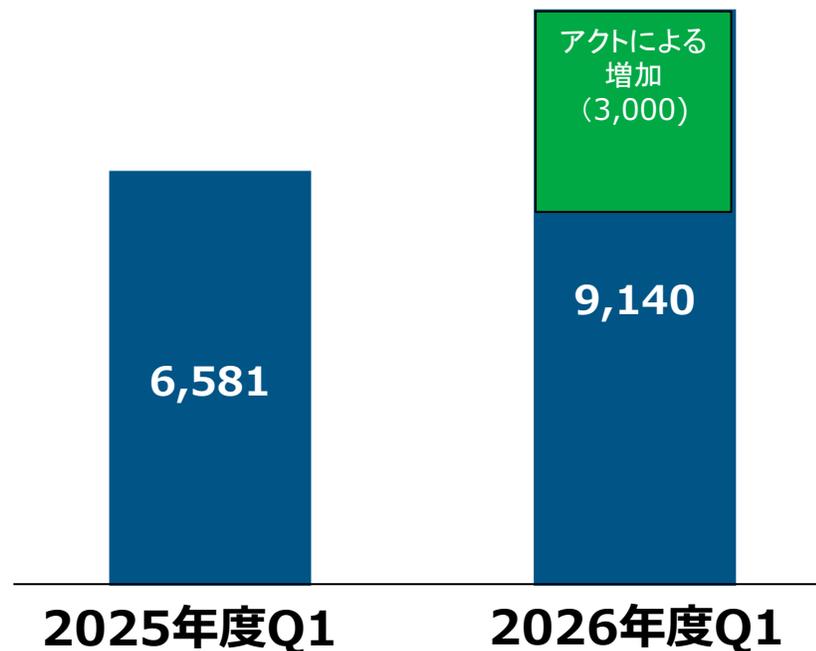


# 地域セグメント 他アジア (インド/インドネシア/ベトナム/タイ)

\* 売上高は、既存事業は前年比微減となるも、アクトによる増加が寄与し  
+38.9%の増収

\* 営業利益はアクトによる約600百万円の増益効果があり、前年比大幅な増益

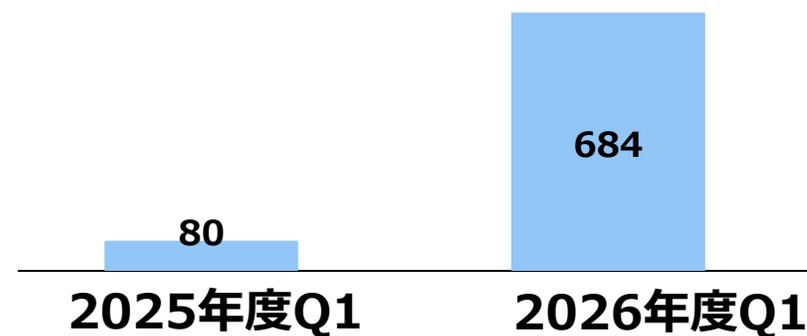
## ■ 売上高 (外部顧客) (百万円)



## ■ 2025年度比 増減額・増減率

売上高	+2,559百万円 (+38.9%)
営業利益	+604百万円 (+755.0%)

## ■ 営業利益 (百万円)

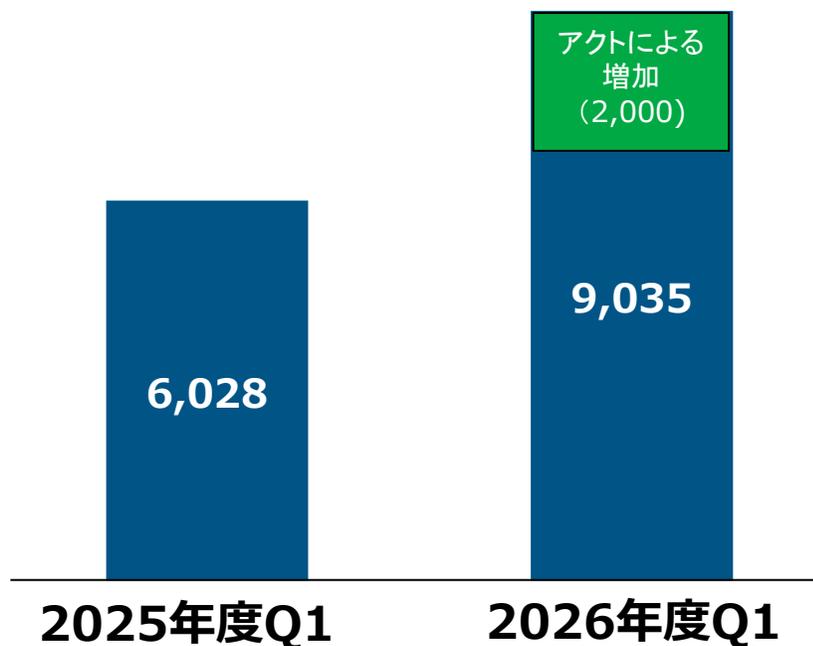


# 地域セグメント 欧州・アフリカ

(ドイツ/ハンガリー/イタリア/スペイン/チェコ/セルビア/モロッコ/イギリス)

- \* 売上高は、アクトによる増加に加え、チェコでの販売好調により+49.9%の増収
- \* 営業利益は、アクトによる増益効果に加え、既存事業における売上好調な拠点の工場操業度向上等により赤字縮小

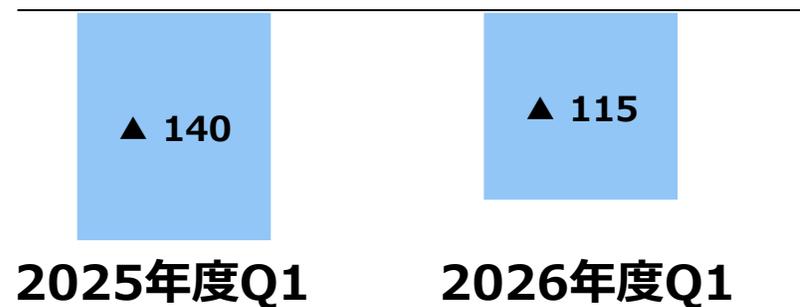
## ■ 売上高（外部顧客） （百万円）



## ■ 2025年度比 増減額・増減率

売上高	+3,007百万円 (+49.9%)
営業利益	+25百万円 (赤字減少)

## ■ 営業利益 （百万円）



# 2026年度通期業績予想

# 2026年度 通期業績予想（連結） 修正前後比較

26年度の通期業績予想はハイレックスアクトグループを含む。  
当期純利益の予想については、“負ののれん”26,837百万円を含んでいる

※2026年3月6日開示の2026年10月期第2四半期（中間期）および通期連結業績予想の修正に関するお知らせの通り

(百万円)

	2026年10月期 通期業績予想 (修正後)	2026年10月期 通期業績予測 (修正前)	増減額	増減率
売上高	401,000	401,000	±0	±0%
営業利益	5,400	5,400	±0	±0%
経常利益	※7,400	6,500	+900	+13.9%
当期純利益	36,850	28,500	+8,350	+29.3%

※為替差損益を含まず

26年度想定為替レート： ¥148.00/\$、 ¥21.00/元、 ¥165.00/€

為替、関税、半導体影響

## 為替変動が当社業績へ与える影響について

当社グループの特徴

「現地生産・現地納入」⇒ ハイレックスアクト社をグループに迎え、変化

ビジネス面での為替リスク 極めて少ない ⇒ 為替変動の影響 一定程度有り

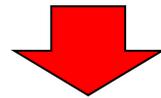
- ・輸出入価格については、アクト社の主要輸出生産拠点があるタイの通貨変動による影響が大きい  
1パーツが0.1円、円安に振れると年間営業利益▲100百万円 変動見込み

## 北米事業における関税影響について（日本/中国/韓国/アジアから輸入部品有）

- 2026年度第1四半期における北米事業の関税影響について、約**3.7百万ドル**の影響。  
→ 現時点で約**2.2百万ドル（約59%）**は回収済み。（差額1.5百万ドル＝約2億円の業績悪化影響）
- 2026年度における関税影響予測は、約**13.0百万ドル**となる見込み。  
→ 回収見込みは約**10.7百万ドル（約82%）**を想定。  
  
⇒ **更に回収率を上げるべく、顧客との交渉を継続する。**

## 2026年度当社への影響予測

- ネクスペリア問題に端を発した半導体不足の影響について、北米地域の一部顧客で2025年10月末から影響が発生し、一部メーカーで約1ヶ月の稼働停止が発生
- 影響はすでに収束し、2025年12月からは計画を上回る受注で、リカバリー基調にあるが、第1四半期では売上減少の影響  
期初予測、約4.2百万ドルの売上減少 → **約2.5百万ドル**へ縮小



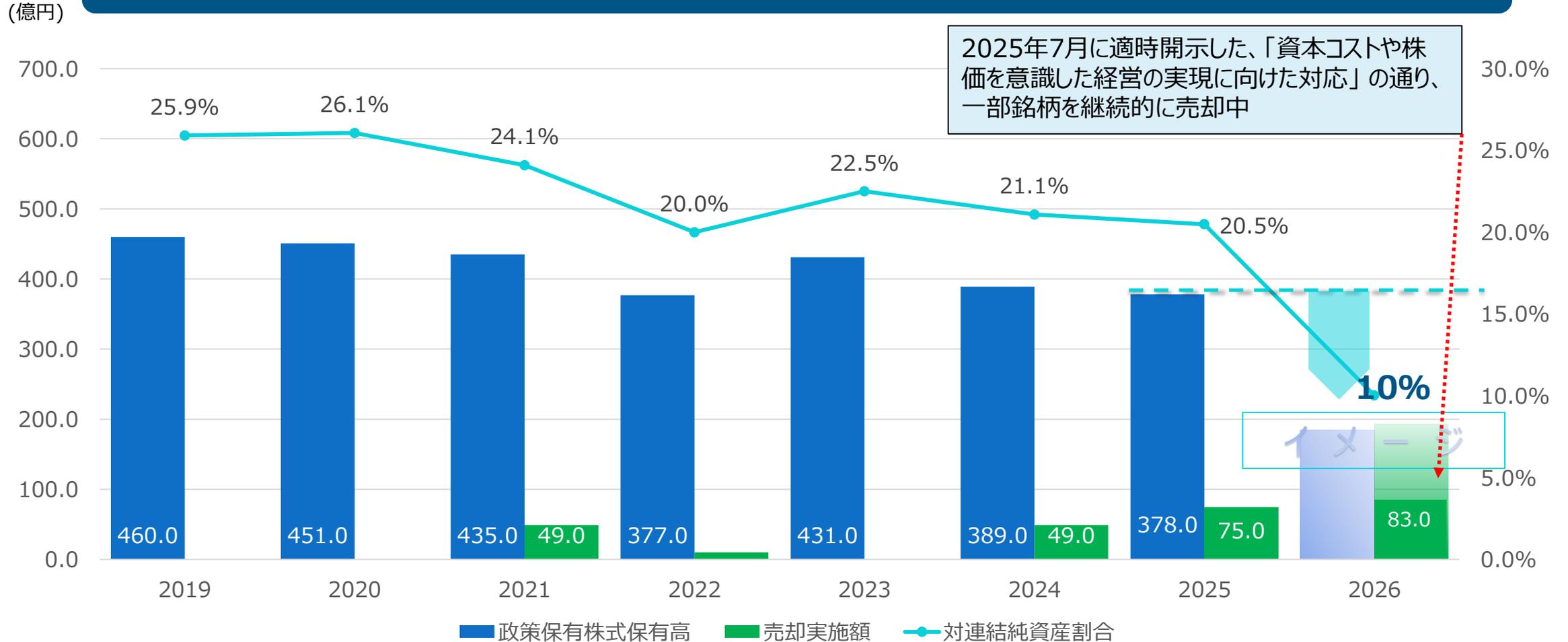
- 日本を含む他セグメントでも半導体不足が一部発生するも、大きな影響はなし。

# 【政策保有株式売却・株主還元方針】

# 政策保有株式に関する取り組みについて

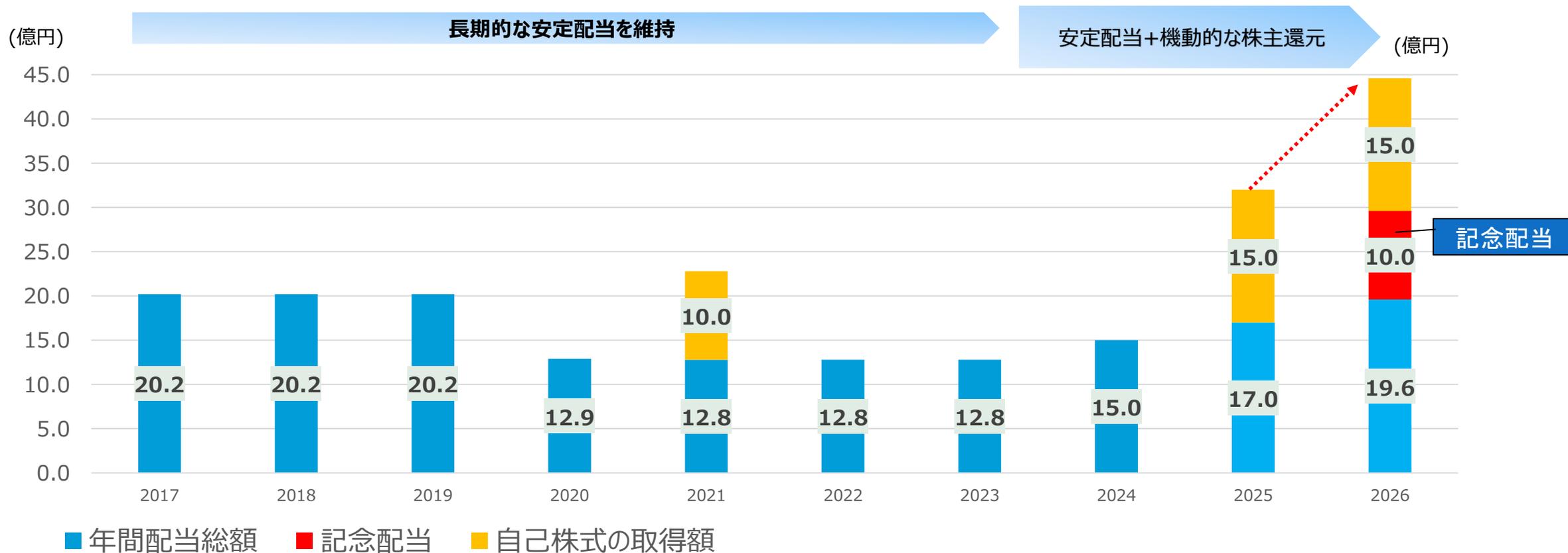
政策保有株式保有高…対連結純資産比10%をターゲットとする

今年度はすでに83億円を売却済み、今後更なる売却を進める



# 株主還元について

- 長期安定的な配当を継続する
- 自社株取得を機動的に実施する
- 26年度は創業80周年を迎え、記念配当も行う



## 基本方針：長期的な安定配当を維持

成長  
投資

人財投資  
新製品開発  
M&A

株主  
還元

安定配当  
自己株式取得

構造  
改革

生産キャパシティ最適化  
工場生産のDX化



バランスを取りながら総合的に判断

# HI-LEX CORPORATION

これからも魅力ある技術と人財に磨きをかけ、  
お客様に困り事があればまず最初に声をかけていただける会社、

**『 To be the First-Call Company 』**

**for Customer's better choice !!**

を当社のミッションステートメントとして掲げ、  
その一つ一つのご縁を大切にHI-LEXコーポレーションは発展し続けます。

## 注意事項・免責事項

本資料は情報提供を目的として作成されており、投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社により作成されております。これら記述は将来における業績達成を保証するものではなく、国内外の予測困難なリスクや不確実性による影響を受けた結果、実際の業績等は見通しと異なる結果となる可能性があります。当社は本資料の情報を利用した結果生じたいかなる損害に関して、一切責任を負うものではありません。

本資料に記載されている情報について、資料作成後の新たな情報の発生に伴い将来の見通しに関する記述を更新もしくは改訂することを当社は約束するものではありません。

本資料に記載されている情報の内容については、予告なしに変更される可能性があります。